

<日本脳炎>

今回は日本脳炎についてご紹介します。日本脳炎とはウイルスによって発生する疾病で、蚊を介して感染します。子供や高齢者に多くみられる病気で、突然の高熱、頭痛、嘔吐など発病し、意識障害や麻痺等の神経系の障害を引き起こす病気で、後遺症を残すことや死に至る場合もあります。一般にウイルスに感染した場合、約 1000 人に 1 人が日本脳炎を発症し、発症した 20~40%の人が亡くなってしまうと言われており、また 45~70%の人に後遺症が残ってしまいます。

予防のためにはワクチン接種が非常に有効と言われており、正しく接種していれば、罹患リスクを 80~95%減らすことができるとされています。

標準的なワクチンの接種のスケジュール

1 期接種：初回については 3~4 歳に期間に 6~28 日までの間隔を
おいて 2 回、追加接種については 2 回目の接種を行って
から 1 年経過した時期に 1 回の接種をします。

2 期接種：9~10 歳までの期間に 1 回の接種を行います。

定期の予防接種は各市町村が実施主体となっていますので、詳細
につきましては、市町村の予防接種担当課にお問い合わせをお勧め
致します。

過去に日本脳炎の予防接種後に重い病気になった事例があった
ことから、平成 17 年度~21 年度まで積極的な予防接種のご案内が
ありませんでしたが、その後新たなワクチンが開発され、現在は通常
通り受けることが可能です。このため、平成 7 年~18 年に生まれた方は
予防接種を受ける機会を逃していることがありますので、母子健康手帳
などをご確認して頂くことをお勧め致します。